



# 世界銀行東京事務所ニュースレター

2023年（令和5年）5月号



WorldBankTokyo



@worldbanktokyo

## 世界銀行グループ春季会合

### マルパス総裁、鈴木財務大臣と面会（4/14）

マルパス総裁は鈴木財務大臣と面会し、国際保健、ウクライナ、債務、MIGA（多数国間投資保証機関）など、長年にわたる幅広い分野での緊密な協力を謝意を表明しました。



### マルパス総裁、地域開発銀行総裁と共に MDBs（国際開発金融機関）トップ会合に参加（4/16）

春季会合中、マルパス総裁は、恒例の MDBs トップとの会合に出席し、世界銀行グループの Evolution Roadmap の進捗状況などを説明すると共に、債務問題を抱える国への支援の重要性を強調しました。



### 日本、ウクライナ向けに、世銀経由で 4.7 億ドルの支援を表明（4/21）

春季会合中に開催された第 3 回ウクライナ支援に関する閣僚級円卓会議では、日本政府より、世界銀行内に設けられたウクライナ復旧・復興支援基金（URTF）への 4.7 億ドル（約 640 億円）の拠出表明がありました。

## 世界銀行インフラ担当チェン副総裁、G7 デジタル・技術大臣会合（@高崎）に参加（4/28-30）

世界銀行グループは、群馬県高崎開催のデジタル・技術大臣会合（議長：河野デジタル大臣、松本総務大臣、西村経済産業大臣）への参加招請を受け、インフラ・デジタル担当のチェン副総裁が出席しました（世界銀行グループの参加は初めて）。同副総裁は、G7 各国やウクライナ代表と面会した他、日本の総務省との協力覚書（MOC）の締結式に臨みました。



## 長崎大学・世界銀行グループ G7 長崎保健大臣会合開催記念 国際シンポジウム～長崎から世界へ：国際保健課題の解決に向けて～



5月15日（月）、G7 長崎保健大臣会合開催を記念し、長崎大学・世界銀行グループ主催でグローバルヘルスに関する国際シンポジウム（@長崎大学医学部記念講堂）を開催します（参加登録：右記 QR コードから）。



## 次期年次総会（2026年10月）：タイ・バンコクで開催

2026年10月の年次総会は、35年ぶりとなるタイ・バンコクでの開催が決まりました。なお、本年10月の年次総会はモロッコ・マラケシュで開催されます（※3年ごとに、ワシントン本部以外で年次総会を開催しています）。

## サステナブル・ディベロップメント・ボンドを日本の個人投資家に共同販売：水・海洋資源の重要性を再び啓発（4/26）

世界銀行では、淡水・海洋資源の重要な役割と水や海洋汚染問題への取り組みの重要性の啓発を図るサステナブル・ディベロップメント・ボンド（3年・707万米ドル（約10億円））を発行し、ぐんぎん証券株式会社、静銀ティーエム証券株式会社、七十七証券株式会社、ちばぎん証券株式会社、とうほう証券株式会社、八十二証券株式会社、めぶき証券株式会社を通じ、日本の個人投資家にご購入頂きました。

## 東京防災ハブの動き

日本－世界銀行防災共同プログラム・東京防災ハブは、世界100か国以上において、防災体制の強化や世銀プロジェクトへの防災の観点の織り込みなど、様々な支援に取り組んでまいりました。こうした中、今回の春季会合では、日本政府より、今後5年で新たに100百万ドル（約136億円：プログラム第3フェーズ）を拠出する旨の表明があったほか、世界銀行グループ内における優良事例として、本プログラムの紹介がありました。日本－世界銀行防災共同プログラム・東京防災ハブは、引き続き、全てのプロジェクトへの防災の観点の織り込みや、気候変動に伴い増大する自然災害への対策（適応）強化を図る途上国への民間資金動員の支援などに取り組んでいきます。

## 東京事務所職員紹介



### 齋藤恵子：上級防災専門官

2023年1月に東京防災ハブ着任。2013年世界銀行入行、GFDRR（防災グローバルファシリティ）で技術支援に携わった後、オペレーションに従事。東南アジア・太平洋地域各国で、世界銀行の防災融資プロジェクトのタスクチームリーダーとして各国政府機関と地震、洪水、台風対策のためのハード、ソフト両面からの減災や、早期警報システム強化などを目的とした各種プロジェクトをリード。世銀入行前は英国ケンブリッジで15年近く防災関連の研究およびコンサルティングに従事。



### 川副育大：防災専門官

2017年JPOとして世界銀行入行。社会保障（貧困）と防災にかかる分析・レポート（ナレッジノート・日本の事例等）の執筆とともに、主に東南アジア地域で当分野の融資・技術協力案件に従事し、2023年1月より東京防災ハブ着任。東京防災ハブでは日本の知見を途上国の防災開発に活かす業務などを担当。入行前は開発コンサルタントとして主に途上国の防災・復興案件に従事。建築学修士。一級建築士。修士。